



## オフィスでヘッドセットが当たり前! 「高音質」と「価格」の両立で全員への配付を実現した ビジネス用の認定ヘッドセット

インターネット草創期から商用サービスを開始したインターネットサービスプロバイダ (ISP) として、官公庁や法人を中心に1万2000社以上の顧客を持つインターネットイニシアティブ (IIJ)。日本のデジタルシフトを牽引し続ける同社では、ほぼ全社員にビジネス用ヘッドセット『Jabra Evolve』シリーズが配布されているという。

### 全社員に配付することを考えたら、 質とコストを両立させるJabraだった

テレワークと出社を使い分ける「ハイブリッドワーク」を実現しているIIJ。従業員はリモート会議を活用し、自宅からでもオフィスからでもスムーズにコミュニケーションを取りながら仕事をしている。

現在ヘッドセットの『Jabra Evolve 30 II』と『Jabra Evolve 40』を合計2000台以上導入し、その他にも多数のJabra製品も活用している同社。実は2017年からテレワーク実現に動き出していたという。事業基盤システム部担当部長の関さんは、次のように話す。

「社員数の増加によるオフィスのひっ迫や、働き方の多様化を見据えて、場所に依存しない働き方の検討を進めていました。その後、2020年のオリンピック開催による出社制限を想定したテレワークの検討に進みましたが、コロナの影響で予定よりも早く実現することになりました。」

そこで、以前より検討していたJabraの導入に至ったとのことだ。

「ビジネスに適したクオリティの製品を、なるべく多くの社員に配付したい…。それを叶えたのがJabraでした」。関さんは、そう評価する。

同社では現在、希望する全ての社員にヘッドセットを配布し、出社率50%以下を実現。経営層も含めて全社員がリモート会議を活用している。

「例えば、全マネージャーと社長が一堂に会する会議もリモートです。取締役会も同様で、社外取締役にはヘッドセットをお渡しして対応いただいています」。Jabraは縁の下の力持ちとして、同社のあらゆるリモート会議を支えていると言えそうだ。



#### Company

Customer : 株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ)

Website : <https://www.ij.ad.jp/>

Country : 日本

#### Profile

創業1992年。連結で3,800人以上の従業員を雇用するインターネットサービスプロバイダ (ISP)。インターネット草創期から商用サービスを開始し、インターネット接続、MVNO、システム・インテグレーション、アウトソーシングなどのサービスを提供する、国内インターネットサービスの草分け的存在。官公庁や法人を中心に12,000社以上の顧客を有する。

#### Jabra Solution

##### Jabra Evolve 40

- 商品番号 [Mono] 6393-823-109 (MS) / 6393-829-209 (UC)  
[Stereo] 6399-823-309 (MS) / 6399-829-309 (UC)
- 標準価格 ¥12,700 (税抜)

##### Jabra Evolve 30 II

- 商品番号 [Mono] 5393-823-309 (MS) / 5393-829-309 (UC)  
[Stereo] 5399-823-309 (MS) / 5399-829-309 (UC)
- 標準価格 [Mono] ¥9,200 (税抜)  
[Stereo] ¥9,700 (税抜)





## 「この価格で、この高音質!？」 スピーカー音質にも、マイクの音質にも驚愕

そもそも、なぜリモート会議をする上でJabraのような高品質なヘッドセットが必要だと判断したのか。関さんは、こう振り返る。

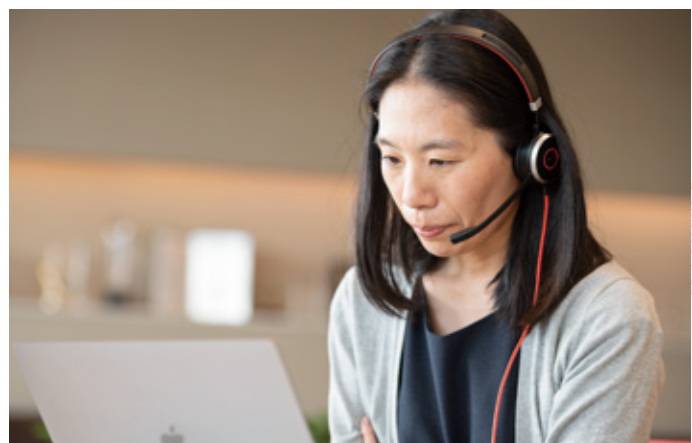
「はじめはスマートフォンに同梱されていたイヤホンマイクなどを使っていましたが、安価な製品だと周囲の声を拾ってしまったり、雑音が多かったりといったトラブルが多発し円滑なコミュニケーションにはほど遠いと感じました。それにノイズの多い人が一人でもいると会議全体の質が下がりますから、質の良いヘッドセットの全社的な支給は不可欠だと判断しました」。

関さんは主要メーカーからサンプル用のヘッドセットを取り寄せ、実際に比較検討したという。その上でなぜJabraを選んだのか、理由を教えてください。

「他社の同価格帯の製品と比べて、圧倒的に音質が良かったからです。はじめて装着した衝撃は今でも忘れません。『この価格で、これほど音質が良いのか!』と、常識が覆された気持ちでした!」。

関さんはヘッドセット選びのポイントについて、こう話す。

「マイクを通して『相手に聞こえる音声品質』もヘッドセット選びの重要なポイントです。皆様も通話相手の声が聞き取りにくかったり、相手の周囲の話し声が気になった経験はないでしょうか?セキュリティの面でもオフィス内の他の会話は聞かれないもの。その点Jabraなら、ノイズを抑えて装着者の声だけを綺麗に拾います。小声でも聞こえるのでオフィスの自席だけでなく、どこでも会議ができるようになりました」。



## ビジネス用の設計だから使いやすい ヘッドセットが当たり前のオフィス風景に

一方、事業基盤システム部 業務システム運用課の豊島さんはJabraの操作性を絶賛する。「手元のリモコンでボリュームやミュートのオン/オフが操作できるのが、すごく便利です。こうした操作性も、ビジネス用に設計されたJabra製品の魅力。MS Teamsでの使いやすさが抜群です。それに軽くて、半日付けていても疲れないんです」。また同社では、サービスとして提供している高品質ネットワーク(※)基盤により自社データセンターとOffice 365データセンターを直結し、Microsoft Teamsを搭載した端末を使ってリモート会議から内線・外線などの音声電話まで単一のヘッドセットで対応できるように準備しているという。

「オンプレミスとMicrosoft AzureやMicrosoft 365をダイレクト接続することで、従来までの固定電話も、MS TeamsやZoomも、全てを一つのヘッドセットで対応できるようにしています。ヘッドセットは通話しながら両手が使えますし、社員からも好評です。今ではヘッドセットが当たり前のオフィス風景となっています!」。最後に、豊島さんはJabraのサポートについてこう評価した。

「コロナ禍の当時、急ぎの注文にも迅速に対応いただけて、とても助かりました。それに購入後の保証が2年というのもありがたいですね。購入数が多かったので、やはり保証は気になるところ。おかげで安心して導入に踏み切ることができました。品質・価格・アフターサポートの全てが揃ったJabraのヘッドセットは、テレワークが当たり前となったニューノーマルのオフィスの必須アイテムだと言えます」。

※IICクラウドエクスチェンジサービス :詳細は下記URL(外部サイト)をご参照ください。  
<https://www.ij.ad.jp/biz/cloudex/>

